

市P連だより

あきたっ子

平成21年 2月27日

No.106



発行 秋田市PTA連合会 市P連シンボルマーク
編集 総務広報部
事務局 秋田市山王二丁目1-53山王21ビル内
☎866-2248 FAX 866-2252
E-mail:akitapta@cna.ne.jp
http://www.akita-pta.jp/

子どもたちが新世紀の担い手として成長してくれることを願い、「あきたっ子」としました。



第7回あらや大川散歩道 平成21年1月31日 「雪まつり」

目次

- ◇「雪まつり」…………… 1
- ◇会長・事務局長あいさつ…………… 2
- ◇スナップあきたっ子…………… 2
- ◇子どもたちの明日のために…………… 3
- ◇専門部会務報告…………… 3
- ◇こちら家庭教育相談
『ぐりーん・えこー』です …… 4
- ◇あとがき…………… 4



一年を振り返って



秋田市PTA連合会
会長 渡辺 正宏

今年度の活動も終盤を迎え、この一年秋田市PTA連合会の活動に際し、会員の皆様方から多くのご協力をいただいたことに厚くお礼申し上げます。また、すべての事業が、滞りなく進められようとしていることに対し、各専門部の部長はじめ運営委員の方々のご尽力に感謝申し上げます。

さて今年度は、秋田市PTA連合会が創設されて六十年という節目の年でもありました。記念式典は、ご来賓の方々や多くの会員の参加の下、盛大に行うことができました。今こうして我々が集い合えるのも、これまでこの連合会を支え築きあげてくださった先人の皆さんがいたからだと感じております。あらた

事務局のお仕事

秋田市PTA連合会
事務局長 加藤 寿一

機会があつて六十周年の記念の年に事務局長という大役をやらせていただき本当にありがとうございます。何もわからない私ですが事務局員の安井緑さんと二人三脚でなんとか事務局の業務と、六十周年の主要行事を恙無くこなすことができました。これも皆さんのご協力があればこそ感謝しております。

さてそれでは、事務局のある一日のお仕事を紹介します。朝、私の携帯が鳴る。「市P連事務局の安井ですーっ！」これが一日の始まり。「〇〇の

めて先輩諸氏のご尽力に敬意を表するところでありませう。

残念なことに、昨今の会員のPTAへの参加状況や関心の希薄さを思うと果たして、先輩たちが思い描いたPTA像になつていけるだろうか？と、反省することばかりが浮かんできます。六十年という節目の年を迎えた年だけに、これからのPTA活動の在り方をいろいろ考えさせられた一年でもありました。今我々がなすべきことは、六十年間の長いPTA活動の歴史を受け止め、守り継ぎ、後人へと伝えることではないでしょうか。今後ますますPTAの存在意義が問われる時代になつてくるのではないかと思つております。そのためにも会員の絆を更に強いものにし、子どもたちのためにできることは何かを考え、それを実行していくことが何よりだと考えております。

一年間本当にありがとうございました。

文書、PCにメールで送つておきました。確認をお願いします。早速、送られてきた文書に目を通してレスポンス。程なく事務局から再び電話。「ありがとうございます！。ところで〇〇の件は、こうしますがよかったですでしょうか？」と安井さん。「はいはい。その件はそのようお願いします」と私。このような会話が日常的に続く……。あれっ？きょうは安井さんから連絡がないなーと思つてみると、すでに金曜日。事務局は金・土・日はお休みなのです。かくのごとく、あつという間の一週間でした。

これが事務局のお仕事。結構忙しいでしよ？あつ！そうそうカラオケ。いや、会議の司会。これは私の大事なお仕事です。

スナップ あきたっ子



御所野小学校 2月8日(日)
「御所野地区雪まつり」

ミニかまくらのローソクの灯りが、御所野の街並みに次々と点灯されていきました。



御所野学院中学校 1月30日(金)
「中高合同百人一首大会」

高校の先輩は、強いなあ。



日新小学校 1月28日(水)
「雅楽教室」

あまり聞くことのない雅楽の演奏を聴き、楽器にも触れることができました。貴重な体験でした。

スナップあきたっ子
写真募集!!

秋田市PTA連合会 総務広報部 秋田市山王二丁目1-53

TEL 018-866-2248 / FAX 018-866-2252

E-mail: akitapta@cna.ne.jp http://www.akita-pta.jp/ ホームページもご覧下さい。

『子どもたちの明日のために』

秋田市立御所野学院中学校長 米澤喜彦

「教育は子どもたちの明日のために」とはよく言われる言葉ですが、世界的な経済不況の中にあつて、それは、子どもたちが自立した人間として立ち立っていくことにつきる、という感を一層強くしているのは私だけではないと思います。

それでは、そのためには何が必要なのかとなれば、究極のところは「基本的生活習慣の確立」ではないかと考えています。そして、それはまさしくPTAの活動目標の一つである「早寝・早起き、朝ごはん、家庭学習」につきると考えます。

今回私に課せられたテーマである「家庭学習」もわかりです。さまざまなことで話題になつている全国学力・学習状況調査ですが、質問紙調査における結果こそ、全てを物語っていると感じています。すなわち、「家で学校の予習・復習をしている（小学校）」「家で学校の宿題をしている（中学校）」の質問が全国平均を顕著に上回っていることが

それです。

早寝・早起き等にも通ずることですが、要するに、自分がやる気を出して一定の時間、一つの事柄（学習等）に集中できる習慣こそ、社会に出て立ち立っていく基本中の基本だと考えるからです。

中学校勤務の経験が長いので、中学生にはよく、こんなことを話してきました。

・友達と一緒に楽しく学ぶことはもちろん大切だが、こぞという時には、一人での机に向かえなくては本物の勉強とは言えない。

・テレビやゲームと闘つて、それに勝てる人間になつてほしい。

家庭学習の習慣は、まさしく今言われている『生きる力』そのものの基礎を試されているのだと思います。

家庭においても、学校においても、子どもたちに寄り添いながら（時には誉め、時には叱咤激励しながら）その手助けをすることが社会人たる大人の責任だと強く感じています。

専 門 部 会 務 報 告

総務広報部

- 5.24 第1回部会
- 6.7 部員研修会／会報の作り方研修
「大事にしたい、ことばの温度」
- 7.18 第104号発行
- 12.18 第105号発行
- 2.16 第2回部会
- 2.27 第106号発行

文化研修部

- 5.24 第1回部会
- 7.14 第1回運営委員会
- 7.27 夏休み親子自然観察会
仁別国民の森
- 9.3 「メディア・リテラシー」部員研修会
- 1.31 第2回部会

生活安全部

- 5.24 第1回部会
- 6.12 生活安全部員研修会
講話「通学路の安全確保に係る要望の仕方研修」
講話と実技指導
「安全な“交通安全街頭指導”の仕方」
- 6.12 通学路の安全確保に係る要望書提出通知
- 7.17 第2回運営委員会
- 11.14 交通安全関係機関との懇談会
- 11.14 第2回部会
- 12.1～8 第29回秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」運動
- 12.26 「一円玉福祉募金」贈呈式
- 2.21 第2回運営委員会
- 2.21 第3回部会

保健体育部

- 5.24 第1回部会
- 6.6 第1回運営委員会
- 7.31 第2回運営委員会
- 8.8 球技大会抽選会
- 8.18 第3回運営委員会
- 8.23 第45回秋田市PTA親睦バレーボール大会
- 9.5 第4回運営委員会
- 9.13 第61回秋田市PTA親睦野球大会
- 9.20 第5回運営委員会
- 2.21 会員研修会
講演「食事とスポーツ」
- 2.21 第2回部会
- 2.21 第6回運営委員会

秋田市PTA連合会 防犯パトロール「マグネットシート」補助事業



平成21年度 秋田市PTA連合会生活安全部では、子どもの安全支援活動として防犯パトロール「マグネットシート」補助事業を始めます。

これに先立ち平成20年度は、各学校へ防犯パトロール「マグネットシート」を1枚ずつ配付致しました。

市内小中学校共通の「マグネットシート」を使用することにより、子どもたちの安全を守る活動に力を合わせましょう。

補助事業の詳細は、平成21年度第1回生活安全部会で、説明致します。

こちら家庭教育相談 『ぐりーん・えこー』です

秋田市子ども未来センターがオープンして5年目に入ります。

その一角にある『ぐりーん・えこー』には子育ての悩みや心配を抱えた保護者の皆さんから、たくさんの相談が寄せられています。

最近の小中学生に関する相談を紹介してみましよう。

Q1 小学校低学年です。「朝、学校に行きたくない」と言うことがあります。理由を尋ねると「先生が・・・友達か・・・」とはつきりしません。体調も悪そうですが、医者は病気ではないと言います。登校すると元気に過ごしているそうです。

A それはご心配ですね。「学校に行きたくない」と言われると親は「学校に何か原因がある。」と思われるようですが、実はそうではない場合もあります。

低学年の子は、「夫婦喧嘩を見てしまった」「祖母が病

気」「親の仕事が忙しくなった」など家庭内の出来事によって、心のエネルギーをなくしてしまうことがあるのです。ときには「家を建てて引越した」「下に赤ちゃんが生まれた」というような、大人から見ても嬉しいと思われることが原因になることもあります。

しかし、子ども自身は原因に気付かず「自分でもどうしてなのかわからないけど、学校に行く力がなくなった」というのが正直な気持ちのよう

です。「行きたくない」と言われたら原因探しの前に、まずはギューツと抱きしめてあげま

しかし、登校渋りや不登校には、複雑な問題が潜んでい

る場合もあります。当センターでは個別の相談に応じています。一緒に考えていきましょう。



Q2 中学生です。先日、子どもの携帯電話のメールをこっそり見てしまいました。

すると日頃仲良くしている友達との間で「キモい、消えろ」というやりとりをしていることがわかってショックを受けました。こっそり見た負い目があった、子どもに事情を聞くことができません。

A それは驚かれたことでしょう。携帯電話やパソコンの普及によって子どもたちの交友関係に親の目が届きにくくなりました。使用場所や時間・料金などに親子でルールを作っても、内容まで把握するのは難しいかもしれませ

仲の良い友人の間ではその言葉は軽い遊びの一つとして使われているようです。しかし、相手を傷つける言葉は使うべきではないということ

しよう。それは携帯電話を「見た、見ない。」に関わらないことです。

便利であっても、使い次第では危険な携帯電話やパソコンです。子どもに使用させる場合は親として、「ルール違反やトラブルがあったら、こうする」というような毅然とした態度も必要だと思

Q3 小学生と中学生の子どもがいます。そろそろ家の手伝いをさせたいのですが、いくら言ってもやろうとしません。「勉強がある」と言われると「仕方がないかな。」とも思ってしまう。どうしたら良いでしょう。

A 今までお母さんが全部やってきたのです。ただ、勉強や自分のやりたいことをやってみて大きくなった子どもは、生活するのに必要な力が育っていないため、将来自分自身が困ることになりま

「何もできない自分が情けない」と言う大人にはしたくありません。ならば、『手伝い』というよりも、家族の一人として家の仕事に役割をも

たせてはいかがでしょうか。「子どもと相談して決めようか。」はりきってやるようになるかもしれません。といってもまだ子どもです。初めは上手にできなくても、褒めてあげること

家庭教育相談 (ぐりーん・えこー)

電話相談・面接相談 9:00~18:00

018(887)5337 (日曜休み)

〈相談内容〉しつけ、不登校、友だち関係、いじめ、親子関係、勉強、進路、習い事、情緒不安定、問題行動、発達の遅れ、etc.

秋田拠点センター アルヴェ5F
秋田市子ども未来センター内

あとかぎ

初めて「あきたっ子」の作成に携わらせていただき、他学校の方と知り合えた事と、PTA活動をより身近に感じる事が出来たことで、充実した時間でした。今後より長いPTA活動を目指していければと思います。お忙しい中、協力して下さい。方々に心よりお礼申し上げます。今後よろしくお願ひ申し上げます。

秋田市立仁井田小学校
種村 成子